

平成 29 年度上期事業実績一覧表

日	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金 法条例① 大気・温暖化
2	日	火	金 県受託決定 見積提出	日 エフウォーター 打合	水	土
3	月 県受託報告書 提出	水	土	月	木	日
4	火 琵琶湖環境部長 挨拶	木	日	火 第43回関西環 境管理者交流	金 温暖化対策課打 合	月
5	水 AIU損保打合 商工観光挨拶	金	月 エコビジネス 打合	水	土	火 公害防止管理 者資格試験講座
6	木 決算監査	土	火	木 ダイアアクアS打 合	日	水
7	金 広報誌第1枝	日	水	金 公益法人会計 セミナー	月	木
8	土	月	木	土	火 びわ湖花火大会 納涼祭	金 法条例② 水質
9	日	火 琵琶湖博物館来 訪	金	日	水	土 派遣アドバイ ザー①
10	月	水 アインズ出稿	土	月	木	日
11	火 広報誌出稿	木 高橋金属打合	日	火	金	月
12	水 県受託報告書 提出	金	月 納税書(国・県・ 市)入手	水 琵琶湖再生法合同 会議	土	火
13	木	土	火 県事業報告書ま とめ	木	日	水
14	金 日役会①	日	水 あわうみ 司法書士打合	金	月	木 三菱ケミカル打 合
15	土	月 公益法人説明 会	木	土	火	金 法条例③ 土壌汚染
16	日	火	金 国環研シンポジ ウム	日	水	土
17	月 広報誌完成 総会案内封書	水 アインズ2枝出 稿	土	月	木	日
18	火 総会案内送付	木 立命館大学打合	日	火	金	月 消費者フェスタ (彦根市)
19	水 AIU損保打合 琵琶湖部打合	金	月 事業報告チエッ ク	水 ISO14001 研修打合	土	火
20	木	土	火 登記登録完了 (法務局)	木 環境政策課 講習会打合	日	水 ダイアアクアS 打合
21	金	日	水 役員変更登録 (県提出)	金 草津エコフォー ラム	月	木 立命館第8回Σシ ンポジウム
22	土	月	木 立命館大学打 合(難分解性)	土	火 淡海環境保全 打合	金 法条例④ 産業廃棄物
23	日	火	金	日	水 組織活性化委員 会②	土
24	月 大津板紙打合	水 総会事前打合	土	月	木 ISO14001講習 会	日
25	火 理事会①	木 省エネ研究会①	日	火	金 ISO9001講習会	月
26	水 県受託説明会	金 定時社員総会 表彰式、交流会	月 県受託契約	水 省エネ研究会②	土	火
27	木 旭化成訪問	土	火 登記登録完了 (法務局)	木 循環社会推進課 打合	日	水 山田油脂打合 省エネ研修会③
28	金 定期メルマガ96	日	水 県事業報告 完了	金	月 インターン受入 (28-10日)	木 定期メルマガ101
29	土	月	木	土 定期メルマガ99	火	金 法条例④ 騒音振動・悪臭
30	日	火 定期メルマガ97	金 定期メルマガ98	日	水 滋賀県立大学 打合	土
31	-	水 県受託プレテ	-	月	木 定期メルマガ100	-

平成 29 年度下期事業実績一覧表

日	10月	11月	12月	H30 1月	2月	3月	
1 日		水	金	琵琶湖一斉清掃日	月	木	水環境ビジネスF
2 月		木	土	派遣アドバイザー③	火	金	龍谷大学打合 南部地域環境保全研修会
3 火	派遣アドバイザー②	金	日		水	土	
4 水	碧い湖65号出稿	土	月		木	日	
5 木	企業見学会(株)ダイフク	日	火	日本ガラス トロニクス打合	金	月	HP改訂打合②
6 金		月	水		土	火	次年度事業計画 事前検討会(上野)
7 土		火	木	東近江・湖東 環境事務所打合	日	水	JICAシンポジウム
8 日		水	金	南部環境事務所 打合・近江電子	月	木	(株)堀場製作所 びわ湖工場見学 高島地域環境保全研修会
9 月		木	土		火	金	
10 火	碧い湖65号完成	金	日		水	土	
11 水		土	月	湖北環境事務所 打合	木	日	
12 木		日	火	甲賀環境事務所 打合	金	月	龍谷大学打合
13 金		月	水		土	火	湖北地域環境保全研修会 水環境ビジネスPT打合
14 土		火	木		日	水	ダイハツ工業見学 事前打合
15 日		水	金		月	木	総務広報委員会
16 月	東レ(株)打合	木	土		火	金	循環社会推進課 打合 三役会③
17 火	メッセ搬入	金	日		水	土	新春技術講演会 (龍谷大学)
18 水	ビジネスメッセ	土	月		木	日	
19 木		日	火		金	月	
20 金	↓	月	水	立命館大学 打合	土	火	組織活性化 委員会 (株)カネカ滋賀工場 打合
21 土		火	木	日本ガラス トロニクス打合	日	水	甲賀地域環境保全研修会
22 日		水	金	第5回中間理事会	月	木	県受託納品⑨ 第6回理事会 関西SDGs
23 月		木	土	勤労感謝の日	火	金	企画委員会 定期メルマガ106
24 火		金	日		水	土	新春賀詞交歓会 派遣アドバイザー④
25 水	温暖化対策課 打合	土	月		木	日	省エネ研究会⑤
26 木	企画委員会	日	火	MMIC戦略会議	金	月	立命館大学底 質打合 大津地域環境保全研修会
27 金	面談	月	水	立命館大学講演依頼	土	火	湖東地域環境保全研修会 派遣アドバイザー⑤
28 土		火	木	仕事納め	日	水	東近江地域環境保全研修会 県受託納品⑩
29 日		水	金		月	-	低炭素ブランド 説明会 定期メルマガ107
30 月	底質活性化打 合	木	土	定期メルマガ103 県受託納品⑥	火	-	立命館大学底 質打合 碧い湖66号出稿
31 火	定期メルマガ102	-	日		水	-	県受託納品⑧

I. 公益目的事業

1、セミナー・講習会・研修会事業

(1) 法・条例を学ぶ講習会

【滋賀県・大津市後援事業】

企業の CSR 活動の一環として、本講習会の講師は滋賀県琵琶湖環境部と大津市環境政策課の方々などをお願いして、法令遵守体制の強化と環境関連に関する法令・条例を基礎から学んでいただくために、平成 16 年度から実施しており、社員の方々の環境教育プログラムとしてすっかり定着しました。今年は、9 月の毎金曜日に 5 回シリーズで実施。

出席率は 97% で受講者数も延べ 4,000 名を超えました。

(敬称略) 単位：名 (但し () 内は会員)

開催日時	講座名	講座内容 講師	受講者数	
			当年	前年
9/1(金) 13:30~ 16:30	I 大気編 II 地球温暖化編	I 「大気関係法令」「改正フロン法について」 環境政策課 宮野主任技師 II 「地球温暖化の現状と課題」 温暖化対策課 竹内主任主事 「低炭素社会づくりについて」 温暖化対策課 廣田主任技師	40 (34)	30 (29)
9/8(金) 14:30~ 16:30	水質編	「水質関連法令」「最新条例」「最新事例」 環境政策課 萩原技師	60 (53)	68 (61)
9/15(金) 14:30~ 16:30	土壌汚染編	土壌汚染の概要について 「土壌汚染対策法の目的等」 「土壌汚染状況調査の契機」 「土壌汚染状況の調査の方法」 「土壌汚染判明時の対応」 環境政策課 井上副主幹	28 (27)	30 (29)
9/22(金) 14:30~ 16:30	産業廃棄物編	産業廃棄物の適正処理のために ・廃棄物処理及び清掃に関する法律 ・各種サイクル法(自動車・家電・包装容器等) ・PCB 特別措置法 ・水銀使用製品産業廃棄物の取扱いについて 循環社会推進課 児玉主幹	82 (64)	51 (39)
9/29(金) 13:30~ 16:30	I 騒音・振動編 II 悪臭防止編	I 「騒音・振動に関する法令の概要について」 ①公害について ②音・振動の基礎 ③騒音振動規正法の概要 ④防音・防振対策 ⑤事例紹介 大津市環境政策課 浜崎主任 II 「悪臭防止法の概要(苦情とその方策)」 ①悪臭防止法の概要、体系、目的、定義 ②規制基準(敷地境界、排出口、排水) ③その他(臭気指数、悪臭防止対策等) 当協会環境管理アドバイザー	44 (34)	34 (27)
合計			254 (212)	213 (185)

※因みに平成 28 年度は上記シリーズに加えて化学物質編もあり、受講者は 65 名(会員 58 名)でした。

(2) 地域別環境保全研修会

【滋賀県各環境事務所・大津市との共催事業】

この研修会は、地域の企業が県の工場立入調査と最新の法改正の情報提供に対してお互いに意見交換することにより、地域のレベルアップを図り、環境保全に地域行政と協働して取り組むことを目的にした平成10年度から継続している研修会です。今年度は平成30年2月～3月に下記7地域で開催しました。そして協会からは、「環境リスクの未然対応」をテーマに、5地域では、岸講師より「化学物質による環境リスク低減と企業の管理促進」について、2地域では、西田講師に「省エネ法改正動向と環境改善」についての講演をお願いしました。

単位：名、（）内数字は会員

地区	日時・場所	県および大津市からの情報提供	参加者	
			今年	前年
湖北	2/13（火） 14:00～16:30 長浜市民交流C ふれあいホール	<ul style="list-style-type: none"> 工場立入調査結果、環境法令の改正概要 湖北環境事務所 しが発低炭素ブランド認定制度 滋賀県温暖化対策課 事例発表「環境保全活動の取組」 (株)TKX 環境課 講演「化学物質による環境リスク低減」 岸講師 	52 (20)	46 (17)
甲賀	2/21（水） 14:00～16:30 甲賀合同庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 工場立入の結果概要と今後の法改正情報 甲賀環境事務所 しが発低炭素ブランド認定制度 滋賀県温暖化対策課 講演「省エネ法改正動向と環境改善」 西田講師 	34 (5)	46 (8)
大津	2/26（月） 14:00～16:30 大津市役所	<ul style="list-style-type: none"> 講演「化学物質による環境リスク低減」 岸講師 事例発表「環境保全活動の取組」 (株)カネ力滋賀工場 県内事業所の立入事例紹介 滋賀県環境政策課 大津市からの情報提供 大津市環境政策課 ①公害関係の届出について ②ごみの分別について ③大津環境人を育む行動計画について 	38 (21)	58 (14)
湖東	2/27（火） 14:00～16:30 彦根勤労 福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 工場立入調査結果、法改正について 湖北環境事務所 しが発低炭素ブランド認定制度 滋賀県温暖化対策課 講演「化学物質による環境リスク低減」 岸講師 	79 (31)	58 (21)
東近江	2/28（水） 14:00～16:30 近江八幡 商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 工場立入調査結果、法改正について 環境事故事例について 東近江環境事務所 しが発低炭素ブランド認定制度 滋賀県温暖化対策課 講演「化学物質による環境リスク低減」 岸講師 	54 (15)	50 (20)
南部	3/2（金） 14:00～16:30 栗東芸術文化 会館 さきら	<ul style="list-style-type: none"> 工場立入の結果概要等についてと届出の留意点 PRTR 届出情報から見る滋賀県南部地域の環境について 南部環境事務所 しが発低炭素ブランド認定制度 滋賀県温暖化対策課 講演「省エネ法改正動向と環境改善」 西田講師 	40 (8)	39 (9)
高島	3/8（木） 9:45～12:00 新旭公民館	<ul style="list-style-type: none"> 事業場立入指導状況と環境リスク対策について 法令改正について 高島環境事務所 しが発低炭素ブランド認定制度 滋賀県温暖化対策課 講演「化学物質による環境リスク低減」 岸講師 	19 (4)	15 (5)
参加者 合計			316 (104)	312 (94)

参加者は前年比101%、会員参加者は前年比155%の増加となる。

(3) ISO 内部監査員スキルアップ研修会

ISO14001 は、2004 年版が大幅に規格改訂され、2015 年版として 2015 年 9 月 15 日に発行されました。また同様に ISO9001 も 2008 年版が大幅に規格改訂されて同様に 2015 年 9 月 15 日に発行されました。そして 2015 年版への認証移行期間は、規格発行から 2018 年 9 月 14 日までの 3 年間と決められております。今後継続して認証取得を考えておられる企業は、新規格への移行には、新規格を理解した内部監査員による内部監査が条件となっております。

そこで来年 9 月に移行審査を完了しなければ失効することから、新規格の理解と内部監査の方法を研修会で身につけてもらい、移行審査前の内部監査を実施できるように、スキルアップ研修会を下記日程及びカリキュラムで開催しました。

1 日コースとしましたのは、忙しい方のために準備した速習コースで、内部監査を実施する上で最低限知っておいていただきたい知識の習得を目指しました。そして演習の時間を少なくしてインプットを重視した研修になっており、質疑応答の時間を増やしたために中身の濃い研修会が出来ました。

名 称	ISO14001	ISO9001
日 程	平成 29 年 8 月 24 日 (木)	平成 29 年 8 月 25 日 (金)
参 加 者	9 名	6 名
講 師	ISO 主任審査員 岸 孝雄氏	
場 所	コラボしが 2 1 3 階 研修室	
時 間	9 時 30 分～16 時 50 分	
内 容	研修カリキュラム	
9:30～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:30	2015 規格と内部監査	
12:30～13:15	休憩	
13:15～15:00	ケースタディ：不適合と監査事項の判定	
15:00～16:00	内部監査の進め方と監査報告書の作成	
16:00～16:50	質疑応答及び内部監査のフォローアップ	

【 当日の研修風景 】



2、産学連携学習・研究事業

(1)

公害防止管理者資格試験「事前受験対策集中講座」

龍谷大学との共催

本年度は、龍谷大学大阪梅田キャンパス セミナールームで公害防止管理者資格試験「事前受験対策集中講座」(第5回)を開催しました。

講義は集中講座でしたので、1日で開催することにしました。今回はみなさま、業務の日程が調整つかず、残念ながら3名の参加でした。しかしながら参加者の方々は講師とマンツーマン形式で学ぶことができたので良かったと喜んでおられました。

今後は、皆様方が参加しやすいような企画内容、日程、場所を検討して大勢の方々に参加してもらえるような講座にしていきたいと思えます。

◆開催日時 平成29年9月5日 (火) 9:30~17:00

◆開催場所 龍谷大学大阪梅田キャンパス セミナールーム

◆参加者 3名

◆共催 龍谷大学、(公社)滋賀県環境保全協会

【カリキュラム】

一部 9:30~

①汚水処理特論 ②水質有害物質特論 ③演習

講師：龍谷大学工学部環境ソリューション学科 実験講師 桧尾 亮一

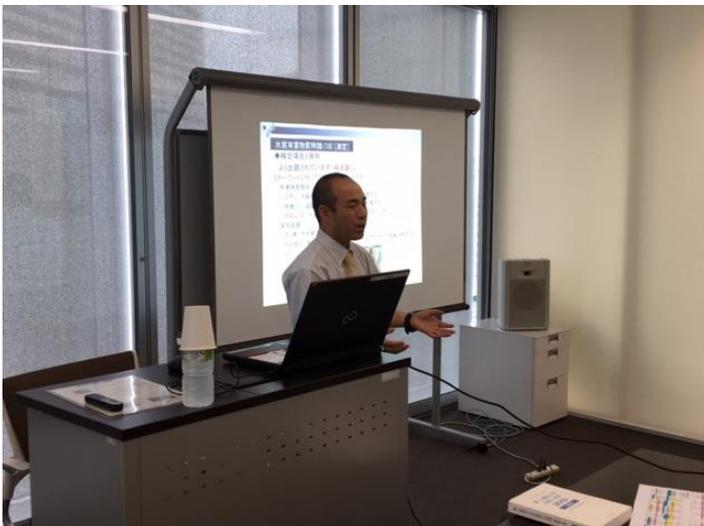
二部 13:45~

④公害総論 ⑤水質概論 ⑥大規模水質特論 ⑦演習

講師：(一財)関西環境管理技術センター 専務理事 武甕 孝雄氏

〔当日の講義風景〕

▽ 桧尾講師 ▽



▽ 武甕講師 ▽



(2)

琵琶湖Σ研究センター 第8回シンポジウム

立命館大学との共催

琵琶湖再生法で、琵琶湖は「国民的資産」として位置づけられました。

今年の第8回シンポジウムでは、『琵琶湖の価値を「10倍」高める』をテーマに、琵琶湖とその周辺地域が持つ水産資源、農業資源、観光資源のコンテンツを整理し、水産資源の観点から産学官連携による価値創発につなげ、ひいては琵琶湖の価値を高める「国民的資産」活動につながる講演会を下記の要領で開催しました。

本年は滋賀県水産試験場と琵琶湖ホテルより講師を招聘し、また立命館大学からも、二人の教授の講演がありました。今年の参加者は、会員企業や一般企業及び学生等も含めて110名（昨年130名）の参加者でしたが、これまでとは違った視点からの講演もあり、大変面白く興味深く大いに役に立つ講演となりました。その後の交流会では琵琶湖ホテルの料理長による滋賀県の食材による料理やab豆などの料理も振る舞われて、賑やかで美味しい交流会となりました。

- ◆ 開催日時 平成29年9月21日（木） 14:00～19:00
- ◆ 開催場所 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス ローム記念館3階及び5階
- ◆ 参加者 110名
- ◆ 主催 立命館大学 総合科学技術研究機構 琵琶湖Σ 研究センター
- ◆ 共催 （公社）滋賀県環境保全協会

【プログラム】

・14:05～ ポスターセッション

理工学部、生命科学部、薬学部の学生中心（17題）

- ① 15:10～ 講演Ⅰ 琵琶湖の水産業 —これまでの取り組み、そしてこれから
滋賀県水産試験場 次長 桑村 邦彦氏
- ② 15:50～ 講演Ⅱ 水産資源確保のためのロボット利用可能性
理工学部ロボティクス学科 教授 川村 貞夫氏
- ③ 16:20～ 講演Ⅲ 三方美（い）シスタディ：滋賀の健康を食から考える
----- 「ab豆倶楽部」を例に-----
スポーツ健康科学部スポーツ健康学科 教授 海老 久美子氏
- ④ 16:50～ 講演Ⅳ 湖国食材の魅力を再発見
---フレンチの技法を用いた新たな”食”の提案---
琵琶湖ホテルレストラン調理部 洋食調理課料理長 稲葉 章夫氏
- ⑤ 17:30～ 情報交換会 開会の挨拶と乾杯の音頭
(公社) 滋賀県環境保全協会 専務理事 吉田 守氏
- ⑥ 19:00 閉会

3、交流会事業

(1) ～ 第 43 回関西環境管理者交流会 ～ (神戸・京都・滋賀 3 地区共催事業)

第 43 回の交流会は、神戸地区環境保全協会様が幹事となり、(株)神戸製鋼所内にあります
灘浜サイエンススクエアで下記のプログラムで開催しました。

【 プログラム 】

開催日時 平成 29 年 7 月 4 日 (火) 参加者：50 名うち当協会 12 名

13:30～14:00 挨拶、3 団体の活動紹介

14:00～16:30 (株)神戸製鋼所 神戸発電所見学、灘浜サイエンススクエア展示室見学

17:00～18:30 懇親会

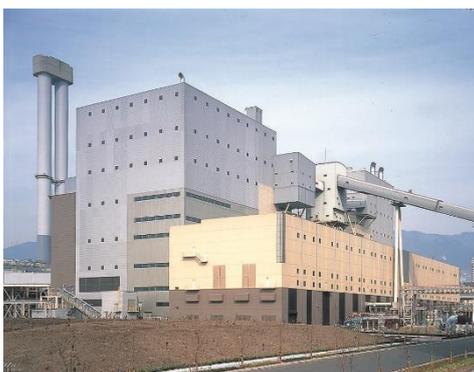
神戸製鋼所様といえば、製鉄所というイメージがありましたが、1995 年の「阪神淡路大震災」を契機に大都市におけるライフラインの重要性が高まり、災害に強い都市づくりの一環として地域と共生する新しいスタイルの「都市型発電所」として永年製鉄所として培われてきた自家発電技術とノウハウ、及び環境技術、石炭ハンドリング技術を集約して最新鋭の発電設備の石炭火力発電として神戸発電所が出来ました。2002 年に 1 号機、2004 年に 2 号機がそれぞれ運転を開始して総出力 140 万 Kw の発電所として稼働を始めております。当日は、晴天でしたら、屋上からボイラー等を見学する予定でしたが、台風 3 号の接近であいにくの大雨となり、発電所内の屋内見学となりましたが、それでもタービンフロアや中央操作室見学は見る者を圧倒しました。発電所にたくさんの人が働いていると思っておりましたが、発電設備全体をコンピュータで 24 時間監視・制御している中央操作室に 10 人足らずの人がモニターで監視している人達以外は、人影を見ることはありませんでした。工場内見学の後、燃料となる石炭の荷揚げの港から 12 基もある石炭サイロそして微粉炭機で石炭が破碎され、ボイラーで燃焼されるまでの各建屋の役割をバスで発電所の外周をまわりながら、説明を受けました。めったに入れない施設でしたのでとても刺激を受けました。

そしてこの 2 基で神戸市のピーク時の電力需要の約 70%をまかなうことが出来ると聞いたときにはもっと驚かされました。見学終了後は灘浜サイエンススクエア内の展示室を見学して「製鉄・発電・エネルギー・環境」について科学や技術の面白さ、不思議さを体感しました。

工場見学が終わる頃には、雨も上がり、懇親会場の神戸市役所 24 階レストランからは今見学したばかりの神戸発電所を眼下に見とれながら、その敷地の広さに驚きましたが、それでも神戸製鉄所の 1/3 の敷地でしかないと聞かされるともっと吃驚しました。また今年は神戸開港 150 周年とのことで夜景を期待しておりましたが、懇親会も賑やかでしたので外を見る間もなく、見ることは叶いませんでした。

【工場概観と内部】

ボイラー建屋



中央操作室



日 程	工 場 見 学 内 容	参加者
10.5 (木)	<p>今年度の工場見学会は、株式会社ダイフクを見学しました。</p> <p>当日は雨が心配でしたが、全般的に曇り日で、工場見学としては絶好の日となりました。まず「日に新た館」で敷地内の施設や森などの説明があり、その敷地の広いこと、120万㎡もあり県内で2番目の広さの工場だそうです。</p> <p>説明を聞いた後、日に新た館の1Fを見学しました。まず自動車組立ラインで自動車のボディにエンジン、部品などが組み付けられる混流生産を見学しました。</p> <p>次に配送センターなどで幅広く使われている自動倉庫を中心にパレット系保管管理システムの実稼動の見学、そしてケースを取り扱う流通業界向け高速出荷のストレージでは最新技術のすごさと沢山のセンサーが使われているのに驚かされました。</p> <p>その後昼食をはさんで2Fの配送センターのピッキングや仕分けエリアをイメージした展示室では、商品の形状に応じて様々なピッキング設備や物流機器、また最新の洗濯機の展示を見学、次に3Fの総合展示ホールを見学しました。ところで工場見学で特に参加者の興味をひいた製品は納骨堂システムです。田舎ではご先祖の墓の面倒が見られないために都会に遺骨を持っていきマンション形式として宗派を問わずに流行しているそうです。</p> <p>工場見学後は、屋外のメガソーラー（なんと東京ドーム12個分あるそうです）の見学と「結いの森」を散策、ここでは絶滅の恐れのあるカスミサンショウウオを生育するなど多様な生物保全に取り組んでおられ、工場の中とは思えないほどとても静かな森でした。最後にこの結いプロジェクトにいたったこれまでの経緯や取り組むまでの苦労話そしてこのプロジェクトを未来に引き継ぎ社内外に保全の輪が広がりつつある話に、参加された皆様も大いに感銘を受けられたようです。</p> <p>なにわともあれ、この日ご尽力いただきました㈱ダイフク及び㈱日に新た館の社員並びにスタッフの皆様方また参加者の皆様方お疲れさまでした。ありがとうございました。この日出会った皆様方、無事工場見学を終えることができましたことに感謝いたします。</p>	18名

工場見学風景のひとつです。



参加者の集合写真です。



(2) 工場見学会 ② 2月8日(木) 株式会社 堀場製作所びわ湖工場

日時	平成30年2月8日(木) 15時～19時	
参加者	協会15名、公益社団法人 湖南工業団地協会 20名	計35名

今年2月8日、(公社)湖南工業団地協会との共催で、当協会としては今年度2回目の工場見学会を実施いたしました。

今回は、平成28年5月23日から稼働された(株)堀場製作所びわ湖工場を見学しました。まず当協会理事でもある(株)堀場製作所山口副本部長より会社概要の説明がありました。「堀場無線研究所」から始まり国産初のガラス電極式PHメーターを完成させ、現在は ①自動車計測システム機器 ②環境プロセス機器 ③医用システム機器 ④半導体システム機器 ⑤科学システム機器 の5つの事業部門からなりたっており、売上構成比も各事業分野とも順調に伸張してバランスがとれているとの話がありました。

また企業文化として、おもしろおかしく(下の写真参照)を社是としてトップと社員が仕事の目標をコミットしてチャレンジ精神で仕事と人生の満足度を高めてよりおもしろおかしく過ごせるように社員一人ひとりが取り組んでいるとの紹介がありました。

その後いよいよ楽しみの工場見学がはじまりました。まず1階の世界でも最高水準にある自動車試験設備であるE-LABの見学にはじまり、9階ある建物内の各階を順次見学して回り、最新設備工場の「ものづくりの生産」を見ながら組立品の説明を3班に分かれて見て回りました。説明を聞きながら外の素晴らしい眺め(見学中は生憎の曇り空でしたが高台から見えるびわ湖の景色は絶景(写真参照)です。

この日は夕方から雪もちらつき始めましたが、無事工場見学を終えることができました。

(株)堀場製作所の外観と玄関から入った正面の社是です。

工場から東側に近江富士が見えます。



(株)堀場製作所 集合写真



懇親会風景



工場9階からの夜景



(3) 平成 30 年 1 月 24 日 (水) 新春賀詞交換会・特別講演会

大津市内のホテルで恒例の新春賀詞交歓会を開催しました。仁連会長の開会挨拶のあと一部の特別講演会では、立命館大学 スポーツ健康科学部 海老教授に「滋賀県の環境に適した食材から健康を考える」をテーマにご講演頂きました。講演内容はスポーツをしている成長期の選手にこそ栄養サポートが必要との観点から、県内各地域の食をスポーツ栄養学の基本として地産地消の考え方をスポーツの食卓に取り入れた、「三方美(い)し」が食のおいしさの要件であり、「栄養の偏らない健康的な食事が大切である」さらに「自ら考えて動く自己管理能力の向上が必要である」とソフトな口調でわかりやすくスポーツ栄養学をお話していただきました。出席者の皆様方から健康管理に大変役にたったので更なる講演をお願いしたいと大好評で特別講演会を終えることができました。

海老教授、本当に素晴らしい講演ありがとうございました。

二部は、出席者皆様方お待ちかねの賀詞交歓会がはじまりました。ホテル側から、琵琶湖産のワカサギ、信長ネギ、伊吹ハムや近江牛、近江蕪など、滋賀県産の食材を利用した料理を出してもらい、皆様方堪能しながら和やかな雰囲気の中に無事交歓会を終えることができました。当日は大雪も心配されましたが何事もなく皆様方無事帰宅の途に就かれました。

ご来賓の皆様方また参加者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

来年もまた継続事業として開催しますので、今回ご都合で欠席された方々も併せて多数のご参加をお待ちしております。

開催日時 平成 30 年 1 月 24 日 (水) 16:00~19:15

◆開催場所 琵琶湖ホテル「ローズの間」

◆参加者 50 名

開会挨拶 仁連会長

・第一部 特別講演会 16:05~17:10



～ 滋賀県の環境に適した食材から健康を考える ～

立命館大学 スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子氏

☆講演内容のひとつを紹介します。

☆ソフトな語り口が印象的な海老教授の講演風景



・第二部 新春賀詞交歓会 17:25~19:15

4、情報発信事業・その他

(1) 広報誌「碧い湖」の発行(発送先;440件)広報紙を発行し環境情報の普及啓発に努めました。

◆第64号 平成29年4月17日

特集「琵琶湖保全再生法」を生かす新たなガバナンスに向けて

◆第65号 平成29年10月10日 特集「滋賀県低炭素社会づくりの改定について」

(2) ITを活用した環境情報の提供

ホームページ(HP)やメールマガジンを活用し、活動等の情報発信を積極的に行いました。

①最新の環境法令・省令及び滋賀県環境条例の提供と環境情報のトピックスを、定期的に月に一度、メールとファックスで会員に発信しました。

・メールマガジン(環境法・条例提供及び環境トピックス) …96～107号の計12件

②HPの更新:12回(イベント案内、事業報告、行政からのお知らせ、法令トピックス等)

(3) 資源化情報システム運営管理業務【滋賀県受託事業】

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課のホームページ運営管理等を受託しました。

循環型社会の形成をめざした3R取組企業の事例紹介や食品ロス削減への取り組みと提案、情報サイト『ごみ減量・資源化情報』の更新、及び「びわ湖環境ビジネスメッセ2017」出展による情報発信を行いました。

日時:平成29年10月18日(水)～20日(金) 場所:長浜バイオ大学ドーム
今年度は「第4次滋賀県廃棄物処理計画における食品ロス対策の方向性」として「食品ロス削減」に向けた取組をパネル化して来場者への普及啓発につとめました。
『滋賀県循環社会推進課の受託ブースの展示内容は、「食品ロス」削減への取組の為の提案パネルと「食品ロス」削減クイズのパネルの計8枚を展示、その他にパソコンコーナーをブース内に設けて昨年リニューアルオープンした「資源化情報サイト」を誰でも簡単に検索できる《ごみゼロしが》のPR活動も行いました。
この3日間の受託ブースへの来場者は約750名でした。
参考【全来場者数:H29:34,270名/H28:29,190名/H27:33,080名】

(4) 滋賀県環境関係条例集の継続販売

平成27年1月発行の「滋賀県環境関係条例集」を販売 ……6冊販売

(5) 環境学習DVDシリーズの販売(第1～4作)

……11枚販売

(6) インターンシップ大学生の受入

産学連携・若手人材育成の一環として大学からインターンシップ学生の受入実施

期間:平成29年8月28日(月)～9月8日(金)(10日間の研修)

人数:1名(滋賀県立大学 環境科学部 環境生態学科 3年生)

内容:法・条例を学ぶ講習会及びビジネスメッセ展示内容企画立案と資料作成

(7) 公共的活動の推進

(公財)滋賀県環境事業公社	評 議 員	(専務理事	吉田 守)
同 上	環境監視委員	(業務執行理事	深川 英明)
同 上	環境監視委員	(業務執行理事	乾 良幸)
同 上	事業推進検討委員	(事務局長	鶴田 三司)

Ⅱ.収益事業

1、会員交流会事業

環境管理実務者の総合研鑽、企業間ネットワークづくりのため、各種勉強会や交流会の場を提供しました。

(1) 企業の環境活動・商品のPR展示

各社の環境保全活動の取り組みや商品・サービス・技術のPRができる展示スペースの場を設けました。

◆開催日時 平成29年5月26日(金) 14:30~15:20

◆開催場所 びわ湖大津プリンスホテル 淡海の間

◆出展企業数 7社(敬称略)

AIU損害保険(株)、(一社)エコビジネス推進協会、大津板紙(株)、(公社)湖南工業団地協会
滋賀県琵琶湖環境部、滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀ものづくり経営改善センター

(2) 会員交流会

会員同士の交流を深め、日頃の活動について情報交換やビジネスチャンスの場として出会うの場をとって会員交流会を開催しました。

◆開催日時 平成29年5月26日(金) 14:30~15:20

◆開催場所 びわ湖大津プリンスホテル 淡海の間

◆参加者 65名

2、表彰事業

環境保全に持続的に取り組み顕著な成果をあげた事業所と環境保全の普及活動や協会の発展に功労のあった方の表彰事業活動を行っています。

平成29年度 滋賀県環境保全協会長表彰式

定時社員総会終了後、滋賀県環境保全協会長表彰式を開催

開催時間 15:45~16:20

参加者 105名

滋賀県琵琶湖環境部より高砂部長様はじめ7名の幹部の方々に来賓として出席していただきました。

本年度は、環境保全優良事業所表彰 3社、功労者 2名の方々が会長表彰を受賞されました。

●環境保全優良事業所(3社)

大津板紙(株)さま、東レ(株)滋賀事業場さま、鶴賀電機(株)滋賀工場さま

●環境保全功労者(2名)

片山 歩さま(東レ(株)滋賀事業場)、吉川 忠さま(キリンビール(株)滋賀工場)

仁連会長より受賞者へ表彰状授与



受賞者代表による謝辞



受賞者・来賓者記念撮影



～ 環境保全優良事業所3社による事例発表会 ～

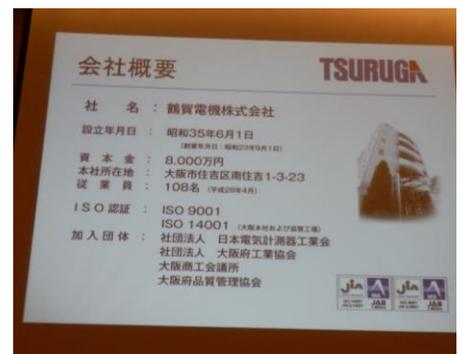
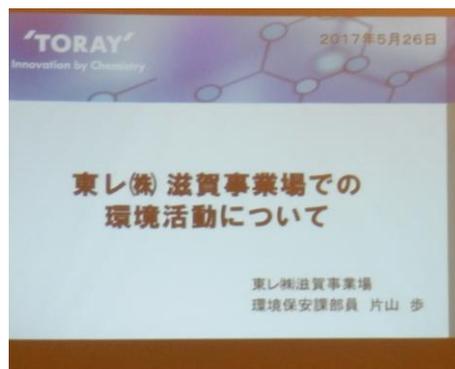
★表彰式終了後、環境保全優良所事業所3社より環境取組事例発表を行い、全員で環境意識向上に努めました。

◆事例発表時間 16:30～17:20

(環境マネジメント部門賞)
大津板紙(株)

(環境マネジメント部門賞)
東レ(株)滋賀事業場

(環境技術開発部門賞)
鶴賀電機工業(株)滋賀工場



(2)理事会

◇ 定例理事会

回	日時	場所	議題(審議及び協議事項内容)
第1回	4/25(火) 15:00～16:40	アヤハレーク サイドホテル	【審議事項】 ・新規加入企業の承認について ①株式会社エフアイ ②有限会社クリタ ③一般社団法人エコビジネス推進協会 ④AIU損害保険株式会社 ・平成28年度主な事業報告について ・平成28年度収支決算報告の承認について ・役員任期途中での辞任に伴う候補者(案) 【報告事項】 ・平成29年度定時社員総会開催日の件について ・平成29年度滋賀県環境保全協会長表彰の件
第5回	11/22(水) 15:30～16:40	滋賀ビル9F 「比叡の間」	【協議事項】 ・平成29年度中間決算報告と下期の活動内容 ・新規加入企業の承認について ①油藤商事株式会社 ・平成29年度滋賀県環境保全協会長表彰候補の件
第6回	3/22(木) 15:00～16:30	滋賀ビル9F 「比叡の間」	【審議事項】 ・平成29年度事業報告と平成30年度事業計画(案)承認 ・平成29年度正味財産増減決算見込みと 平成30年度正味財産増減予算(案)の承認について ・任期満了の役員改選案について ・平成29年度滋賀県環境保全協会長表彰推薦の件 ・新規加入企業の承認について ①一般社団法人滋賀県産業廃棄物協会 ②丸豊産業株式会社 ③株式会社アテクト

◇決議省略による理事会(新規加入企業承認の件)

回	決議日	入会件数	入会企業名
第2回	6/1(木)	2件	有限会社フィンコレクション 旭化成株式会社守山製造所
第3回	7/11(火)	1件	株式会社千商
第4回	9/28(木)	1件	株式会社プレジール

(3) 役員会

◆三役会

場所：コラボしが21 5F会議室

回	日程	【協議内容】
第1回	4/14(金)	<ul style="list-style-type: none">・平成28年度事業報告・正味財産増減決算書について・定時社員総会内容の検討・環境保全活動会長表彰候補選定について
第2回	11/15(水)	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度上期事業報告及び中間決算報告について・下期活動予定について・任期満了に伴う新役員について・環境保全活動会長表彰候補選定について
第3回	H30 3/16(金)	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度下期活動内容について・平成29年度事業総括報告について・平成30年度事業予算について・任期満了に伴う新役員選任の件・環境保全活動会長表彰候補選定について

(4) 各委員会の活動

合同(総務広報・企画・組織活性化)委員会

日程	【協議内容】	場所
7/12(水)	琵琶湖再生法説明会 ①「琵琶湖を守る、活かすことの好循環をさらに推進」 講師 琵琶湖環境部 琵琶湖保全再生課 課長 中村 達也氏 ②琵琶湖環境科学研究センターの取り組みと今後の方針 講師 琵琶湖環境科学研究センター 副センター長 谷口 良一氏	ピアザ淡海 303 会議室

◆総務広報委員会

場所：コラボしが21 5F会議室

回	日程	【協議内容】
第2回	H30 2/15(木)	<ul style="list-style-type: none">・29年度下期広報誌「碧い湖」特集内容について検討内容： 時宜に適った課題・広報価値のあるもの しが発低炭素ブランド募集説明会資料 新春特別講演会・賀詞交歓会の開催報告 東レ(株)の環境活動紹介 予備 鶴賀電機(株) 地域別環境研修会の結果報告 新入会員報告 平成30年度事業方針・琵琶湖保全再生法の現状報告 ～保全再生と活用との循環の推進～・しが水環境ビジネス推進フォーラム研究・技術分科会につて・近畿経済産業局 「地域未来牽引企業」の選定 滋賀県 48社・会員企業向け販促支援 協会ホームページの活用・SDGs(持続可能な開発目標)について

◆企画委員会

場所：コラボしが21 5F会議室

回	日程	【協議内容】
第2回	10/26(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・上期活動報告について 法・条例を学ぶ講習会 ISO14001 内部監査員レベルアップ研修会 など 公害防止管理者講習会 環境管理アドバイザーの派遣 ・下期活動予定について 地域別環境保全研修会 メッセ出展（滋賀県循環社会推進課の受託コーナー） 環境管理アドバイザーの派遣 ・平成30年度新規事業について ・次年度定時総会での表彰企業・功労者（個人）の推薦について
第3回	H30 2/23(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・上期活動報告について ・下期活動報告と予定について ・平成30年度新規事業について ・その他 琵琶湖保全再生法の現状報告 ～保全再生と活用との循環の推進～ しが水環境ビジネス推進フォーラム研究・技術分科会について 近畿経済産業局「地域未来牽引企業」の選定 滋賀県48社 会員企業向け販促支援 協会ホームページの活用 SDGs（持続可能な開発目標）について

◆組織活性化委員会

場所：コラボしが21 5F会議室

回	日程	【協議内容】
第2回	8/23(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員増強対策と実践活動について ・平成29年度実施事業について（組織強化・活動PR等） ・平成29年度の活動報告について ・平成29年度の環境保全事業所・功労者表彰の事前準備 ・平成29年度新春賀詞交歓会の事前準備について ・立命館大学琵琶湖Σ研究センター シンポジウム開催の参加要請
第3回	H30 2/20(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員増強対策と実践活動について ・最新企業見学について ・琵琶湖保全再生法の現状報告 ・しが水環境ビジネス推進フォーラム研究・技術分科会 ・近畿経済産業局「地域未来牽引企業」の選定 ・会員企業向け販促支援 協会ホームページの活用 ・親睦ゴルフの開催について ・SDGs（持続可能な開発目標）について